

<資料>

平成15年 2月25日

エムアンドディーグリーンエネルギー（株） 様

日本白鳥の会事務局

小西 敢

風力発電導入と白鳥等への影響について（回答）

拝啓 晩冬の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、たいへん遅くなり恐縮ではございますが、北海道枝幸郡浜頓別町へ設置計画されている風力発電について、下記のとおり、白鳥等への影響について、ご報告いたしますので、ご検討下さい。

記

北海道枝幸郡浜頓別町頓別地区の風力発電の白鳥等の影響について

当地区は、国内有数のコハクチョウの飛来地であるクッチャロ湖の南東に位置しています。クッチャロ湖には、春と秋に約1万数千～2万羽のコハクチョウが飛来し、日本とロシアを移動する時の休息地になっております。主な渡りのルートからは、はずれているものの水辺を中心として移動するコハクチョウにとっては、利用水面の一部となっており、接触事故の恐れがあります。また、厳冬期の1月中旬～3月上旬にかけては、頓別川河口（設置計画地）が、越冬中の約1000羽のコハクチョウのネグラになっており、より事故の危険が高くなります。更にこの地域は、冬期間も水面が凍りにくい場所として、浜頓別町内では、数少ない水鳥たちの集まる場所となっており、天然記念物のオオワシ、オジロワシの採餌場にもなっています。特に多い時には、40羽前後のオオワシ、オジロワシが集まっており、事故に合う可能性が極めて高い地域と推測されます。このため、当地区は、町内でも道立自然公園のクッチャロ湖、ベニヤ原生花園と同様に風力発電の設置に不適当な地域と思われるので、再度、設置地域のご検討を強く要望いたします。

つきましては、今後ともご理解ご協力を賜りたいと思っておりますので、よろしく願い申しあげます。